

# 水害ハザードマップ・避難情報・避難のポイント周知

千代田区

頻発した水害被害を受け、ハザードマップ・避難情報・避難のポイントについて広報紙への掲載や町会等の会議に職員が出向き普及啓発を図った。

## 命を守るため、適確な判断を 台風・豪雨時の避難について

近年、全国各地で大雨の被害が相次いでおり、ごく限られた範囲に大量の雨が降る集中豪雨が頻発しています。日頃から風水害に備え、大雨や台風の際に適切に行動できるよう心がけましょう。問合せ 災害対策・危機管理課 ☎ 5211-4187

### ハザードマップで危険な場所を確認しましょう

区は、洪水や土砂災害による地域の浸水想定や危険箇所を示したハザードマップを作成しています。マップは、災害対策・危機管理課(区役所4階)または各出張所で配布しているほか、区の☎(右の二次元コードからアクセス可)でも確認できます。



**河川が氾濫した場合** 千代田区洪水避難地図(荒川版/神田川・日本橋川・隅田川版)  
**土砂災害の場合** 千代田区災害情報マップ



### 風水害時の避難のポイント

「避難」といっても、災害などによってその方法はさまざまです。次の災害の浸水想定区域内や危険箇所付近にお住まいの方は、適切な避難行動を確認しておきましょう。



- ※1 水位の上昇が早いいため、屋外への避難ではなく、屋内での避難が基本
- ※2 短時間に局地的な大雨が降り、下水道で雨水を処理しきれなくなりマンホールなどから水があふれる現象
- ※3 氾濫水が千代田区に到達するまでに12時間～24時間かかる見込み

### 夜間の避難について

夜間で見通しが悪いときやすでに浸水が始まっている場合は、無理して避難所などへ行かず、丈夫な建物の3階以上または自宅の上階に避難しましょう。また、夜間に大雨が予想される場合は、明るい時間帯に早めに避難所へ避難しましょう。



▲見通しが悪い中での避難は危険

### 区が発信する避難情報を正しく理解しましょう

区は、災害時に人的被害が発生する危険性の度合いに応じて、3段階の避難情報を防災行政無線、緊急速報メール、テレビ、☎などを通じて発信します。

危険の切迫度	避難情報の種類と発令時の状況	とるべき行動
危険性 大	<b>避難準備・高齢者等避難開始</b> ●災害が発生する可能性が予測される状況	●高齢者など、避難に時間がかかる方は、避難を開始(その他の方は避難の準備)
	<b>避難勧告</b> ●災害が発生する可能性が明らかに高まった状況	●すべての方が避難を開始
	<b>避難指示(緊急)</b> ●前兆現象の発生など災害が発生する危険性が非常に高まった状況 ●災害が発生した状況	●避難していない方は直ちに避難

# 水防訓練の充実

中央区

平成30年 中央区・消防合同水防訓練(区・消防署・消防団と共同で訓練を実施した。)



